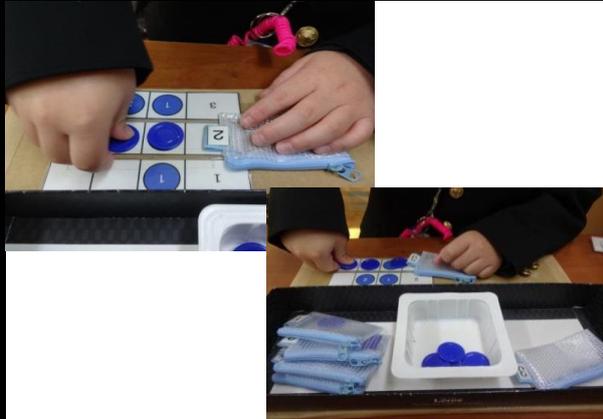


教材・教具の登録

領域・教科	自立活動	教材名	1から3のパッキング										
指導目標	視覚的なヒントを使用して認知的な課題に取り組むことができる。												
教材のねらい	ジグ(作業が行いやすいように補助的に用いる道具)の使い方を学ぶことができる。ジグを使用して3までのパッキング作業に取り組むことができる。												
教材の画像	<div style="display: flex;"> <div style="flex: 1;">  <p>The image shows the materials and components for the packing activity. On the left, there are stacks of blue packing bags labeled '1' and '2'. In the center, a white tray contains several blue circular pieces. On the right, a grid of blue circular pieces is shown, with some pieces having numbers (1, 2, 3) and others having dots (●●●).</p> </div> <div style="flex: 2;"> <p>教材の材料・作り方</p> <p>〈材料〉</p> <table border="0"> <tr> <td>段ボール</td> <td>お菓子の箱</td> </tr> <tr> <td>豆腐ケース</td> <td>タイルやコイン</td> </tr> <tr> <td>パッキング用袋</td> <td>1～3数</td> </tr> <tr> <td>数ジグ</td> <td>ラミネーター</td> </tr> <tr> <td>両面テープ</td> <td></td> </tr> </table> <p>〈作り方〉</p> <ol style="list-style-type: none"> ①1～3の数と「2 ●●●」のような数と具体物の数を示したジグを作成し、ラミネートしておく。 ②段ボールの台紙にお菓子の箱、豆腐パック、ジグを両面テープで貼って固定する。 ③パッキング用袋に数を両面テープで貼る。 </div> </div>			段ボール	お菓子の箱	豆腐ケース	タイルやコイン	パッキング用袋	1～3数	数ジグ	ラミネーター	両面テープ	
段ボール	お菓子の箱												
豆腐ケース	タイルやコイン												
パッキング用袋	1～3数												
数ジグ	ラミネーター												
両面テープ													
使用の様子	<div style="display: flex;"> <div style="flex: 1;">  <p>The image shows a person using the packing jig to pack items into bags. The person is placing blue circular pieces into the jig, which is fixed to a surface. The jig has a grid of circles, some of which are numbered or have dots. The person is also placing blue circular pieces into the bags.</p> </div> <div style="flex: 2;"> <p>教材の使い方</p> <ol style="list-style-type: none"> ①パッキング袋に貼っている数をジグの数に合わせて置く。 ②数ジグの●印に合わせて、コインを置く。 ③コインを袋に入れる。 ④完成品を箱の一番右のケースに入れる。 </div> </div>												
教材の有効性	<p>教材の有効性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・段ボールに容器を固定しているので安定性がある。 ・得意なマッチングの力を発揮し、作業に取り組むことができる。 ・容器やコインを取っていたり、完成品を入れたりする順番が左から右であるという規則性を学ぶことができる。 ・数概念が育っていない段階でも、ジグを使用することで数的な作業に取り組むことができる。 ・ジグの使い方を理解することで、パッキングするものや数を変えても同じように取り組むことができる。 ・達成後は、ジグのサイズを小さくして一覧にしたものを見ながらパッキングしたり、ジグをなくしてパッキングしたり、数と具体物を合わず課題のステップアップにつなげることが可能な場合もある。 												